

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県佐用町 笹ヶ丘荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	957	55	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
5,950	導入なし	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

分析欄

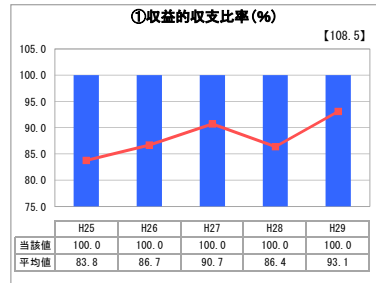
1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率から④定員稼働率までの数値については、高い稼働率を背景に施設単体での黒字化は達成できていないものの、いずれの年度でも平均値と比べて良好な数値と言える。
 ⑤売上高人件費比率から⑦EBITDAについては多くの年度で平均値を下回っており、人員配置の見直しを行い、高い収益性を目指した取り組みを行っていく必要がある。
 本施設は建築から4年6ヶ月、大規模改修から2年6ヶ月が経過しており、毎年多額の修繕費および設備の更新費が発生していることが収益率改善の大きな障害となっている。

2. 資産等の状況について
 本施設は施設の老朽化に伴い、修繕費・更新費ともに増加の傾向となっている。
 修繕方法や更新物品の選定などを慎重に検討し、コスト削減に努力していく。

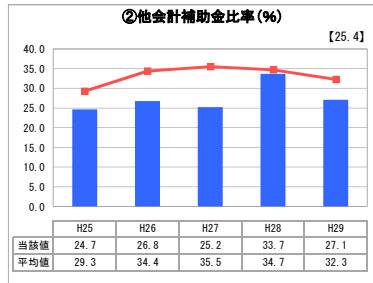
3. 利用の状況について
 本施設はゴルフ場のホテルと並び、本町の基幹となる宿泊施設である。宿泊者数・定員稼働率ともに堅調な数字で推移している。
 しかし一方で、上記の通り管理経費の負担が重く収益性を損ねている。

全体総括
 本施設の課題は、老朽化による維持管理経費の削減にあると言える。修繕か更新か、または施設の建て替えかを計画的に判断しつつ、コスト削減を図りたい。

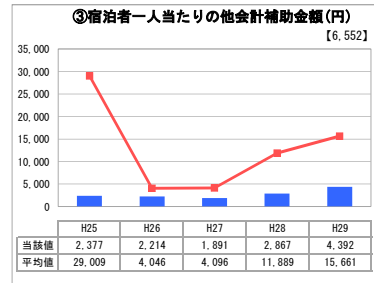
1. 収益等の状況



「経常損益」

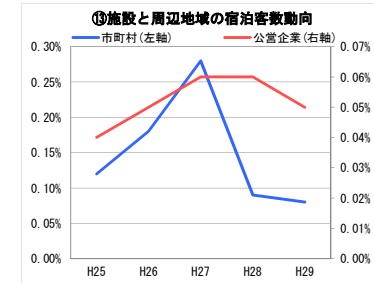


「他会計補助金割合」

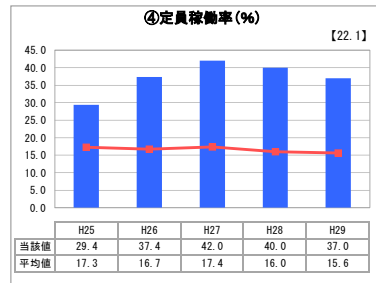


「他会計補助金額」

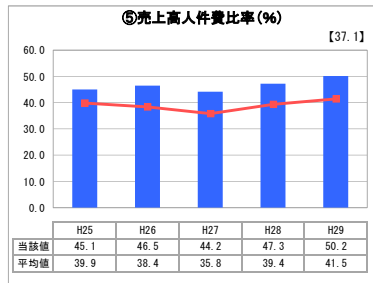
3. 利用の状況



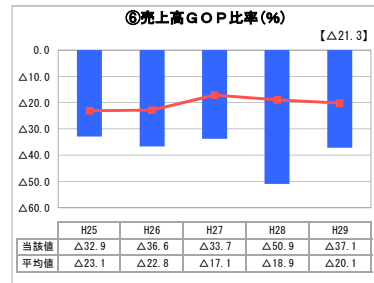
「都道府県延泊者数に対する割合」



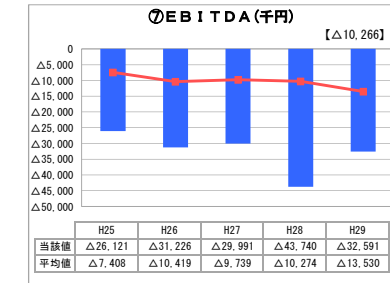
「施設の効率性」



「人件費負担」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

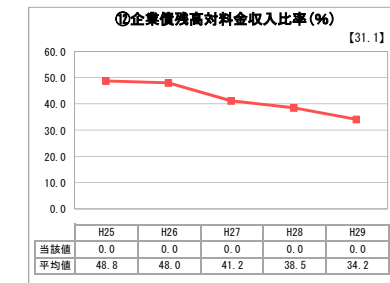


「施設全体の減価償却の状況」

⑨施設の資産価値(千円)	12,004
⑩設備投資見込額(千円)	424,000



「累積欠損」



「債務残高」